



(左から)多田氏、清水氏、中田氏、野口氏、松橋氏

鬼塚氏の「保険業界の明日を考える会」が会長を務める「保険業界の明日を考える会」(02.com)が、8月20日、東京・浅草のアミューズミュージアムで東京大会を開いた。当日は保険業界や芸能プロダクション・アミューズ・エデュテインメントの関係者、日本最大級の学生3団体の幹部など100名超が参集。第一部は青森山田高校教諭で男

子新体操監督の荒川栄氏が「被災地から元気を発信し愛と夢の奮闘記」をテーマに講演。第二部は写真家の初沢利和氏が被災地で撮影した250点の写真を紹介した。メインプログラムのパネルディスカッションでは、損保会社や生保会社、かんぽ生命、少額短期保険会社から5氏が、東日本大震災をもとに保険のあり方について考察した。ここでは、パネルディスカッションの要旨を紹介する。

震災テーマに「保険のあり方」討論

鬼塚氏の「保険業界の明日を考える会」

ディスカッションは、者として、このときほど使命感を覚えたことはなかった」と振り返った。

またあるため、民間生保会社との連携は業務システムや営業の一部であるものの、契約会社照会制度までにはいたっておらず、情報共有の面で遅れているように思う。横断的な連携を図ることができなかった(これは残念だ)と心境を吐露。一

方、保険金の非常即時払いや即時貸し付けなどの各種制度を活用することで、「被災地の方々には金銭面では多少なりとも役に立てたのではないかと考えている」と述べた。

生保会社「ネクスティア生命」に勤務しアクチュアリー資格も有する野口俊哉氏は「インターネッただけの保険募集形態であるため、契約者への対応がおろそかになっただのではないかと声をあつたが、お客様には

謝された代理店さんがたまたまメールし、つながりなければ電話を入れ、それでも連絡がつかなければ訪問した。契約者の多くは都市部に集中していることもあったが、結果的に被災地域全体の確認をとることができた」と述べた。

最後に、パネルの意見をふまえた多田氏が「保険業界関係者は自助を促進する使命を負っているという意見に加え、今回のパネルディスカッションでは『つながり』がキーワードだったように思う。つながりはまさに互助の考え方と同じ意味だ。保険金を支払っているのは保険会社ではない。保険契約者同士なのだ」と述べた。

松橋氏は「この度の未だ多いように感じる」と述べた。募集人の意識のあり方については、保険の原点に立ち返ることになり、保険業界が正しい方向にまっすぐに進むべきではないか」とま

大震災対応、キーワードは「つながり」

保険は巨大な助け合いのネットワーク

ディスカッションの中盤に入り、司会の中田氏が「当社は創業して間もない会社であるため、一般消費者への認知度は低い。震災前は月の新規契約件数が30件程度だったが、震災を境に月あたり約1000件に増加した」と述べた。

「被災地ではない三重県の当社の代理店さんが、震災後に地震保険の契約者全員にお礼状をくださった。理由は、被災しなかったこれらのお客様が

「保険業界関係者は自助を促進する使命を負っているという意見に加え、今回のパネルディスカッションでは『つながり』がキーワードだったように思う。つながりはまさに互助の考え方と同じ意味だ。保険金を支払っているのは保険会社ではない。保険契約者同士なのだ」と述べた。

最後に、パネルの意見をふまえた多田氏が「保険業界関係者は自助を促進する使命を負っているという意見に加え、今回のパネルディスカッションでは『つながり』がキーワードだったように思う。つながりはまさに互助の考え方と同じ意味だ。保険金を支払っているのは保険会社ではない。保険契約者同士なのだ」と述べた。

松橋氏は「この度の未だ多いように感じる」と述べた。募集人の意識のあり方については、保険の原点に立ち返ることになり、保険業界が正しい方向にまっすぐに進むべきではないか」とま



挨拶する鬼塚 眞子氏

「この度の未だ多いように感じる」と述べた。募集人の意識のあり方については、保険の原点に立ち返ることになり、保険業界が正しい方向にまっすぐに進むべきではないか」とま

平成23年度版 基礎から応用まで、最新の知識を満載!! 実務者必携

保険税務のすべて

顧客の信頼を高め、活動効率を高める 生命保険活用の税務情報

- 本年度版の主な特長
- ◆第1章では、収入保障保険の二重課税問題に対する平成22年7月6日の最高裁での逆転判決を受けた「相続等保険年金」の取扱いの詳細、相続税法24条(年金受給権の評価)の改正および平成24年1月から実施される新しい生命保険料控除制度に関する詳細な実務取扱いなど、保険税務をめぐる最新情報を紹介しています。
 - ◆新たに収録・改訂した箇所を含め、約250ページにわたり加筆しています。
 - ◆理解を深めるため、保険税務に係る取扱いの根拠となる通達や判例を各所に盛り込んでいます。
 - ◆また保険税務に加え、法人税、相続税、所得税、地方税の平成23年度改正(6月末成立分)を織り込んだ最新の税制による一般税務の取扱いを紹介しています。



定価 **5,200円**
(消費税込み、送料実費)

- 規格 B5判
- ページ数 1,424ページ

●FAX・HP注文書●
 送信先 (株)新日本保険新聞社
(FAX 06-6225-0551)
<http://www.shinnihon-ins.co.jp/>

平成23年度版 333
 保険税務のすべて 冊

●会社名
 ●部支店名
 ●課支社名
 ●代理店名
 ●送付先(〒)
 ●担当者名
 ●TEL

新日本保険新聞社